

わかやま 県議会

だより 6月 定例会号

No.9

平成22年
【2010】
8月8日発行

紀の松島
(那智勝浦町)

- | | | | | |
|------|------|----------|----|---------|
| 主な記事 | 2~3面 | 6月定例会の概要 | 7面 | 議会庁舎案内図 |
| | 4~5面 | 議員紹介 | 8面 | 議会活動 |
| | 6面 | 県議会のしくみ | | |

子どもたちの未来のために 「元気なわかやま」を めざして

新しく就任した議長・副議長に
これからの抱負や和歌山県に
ついて語っていただきました。

道路網の整備と 福祉施策の充実を！

——これから一番力を入れていきたい
ことは？

谷洋一議長 私はずっと半島性からの
脱却について取り組んできました。こ
の解消に向けて努めることが私の政治
課題です。その中で道路網の整備はな

なくてはならないことだと思っています。
鮮度が一番の生マグロやカツオの輸送
は1時間でも早く到着できることが大
事。そうした交通体系の確立が紀南地域
にとっては観光も含め一番大切なので、
引き続き力を入れていきたいですね。

山下直也副議長 私の信念は現場第一
主義。その活動の中で特に教育・観光・
福祉に力を入れてきました。和歌山県
は近畿で一番の長寿県です。私たちの
先輩が元気で安心して長生きできるま
ちづくり、そのための福祉施策の充実
が大きなテーマになってくるのではな
いでしょうか。



谷 洋一 議長

——これからの和歌山県にとって一番
大事なことは？

議長 まず、和歌山が元気であること
が大切です。知事も「元気なわかやま」
づくりを掲げ、農林水産業や地場産業
振興のため、積極的に国内外へのプロ
モーション活動等に取り組んでいます。
議会としても、これらのことに加え

て道路網の整備促進や少子高齢化対策
に取り組むなど、知事と協力し、県民
の皆さんと一緒に「元気なわか
やま」づくりに全力を傾けていきます。

副議長 来春には全国植樹祭、5年後
には紀の国わかやま国体と、本県にと
って明るい話題もあり、これを機に「和
歌山県」をしっかりと売り出していくこ
とが大切です。

一方、関西広域連合の議論が進む中、
地場産業を含む景気対策、安心して子
育てできる環境づくり、医療と介護、
障害児者対策（自立支援等）について、
さらに観光と教育、道路施策について
も、県民の方々とともに進めてまいり
たいと思います。

魅力的な資源を 後世へとしっかりつなぐ

——ふるさと自慢を聞かせてくださ
い。

議長 東牟婁地域には、世界遺産に登
録された那智の滝や熊野古道、ラムサ
ール条約で保護されている串本の海岸
など、世界に誇る魅力的な資源がたく
さんあります。勝浦温泉などの温泉地
も数多く、また、生マグロやイセエビ、
じゃばら、ユズ、ポンカン、イチゴな

ど食べ物もあげればきりがありませんね。

副議長 和歌山市民にとって母なる川
である紀の川、和歌山城、そして、私
の大好きな和歌浦や加太の海岸など海・
山・川の自然に加え、伝統文化・史跡
もたくさんあります。これを子や孫へ
と後世にしっかりとつないでいくことが
私たちの大切な仕事だと思います。

——最後に抱負を聞かせてください。

議長 私は背伸びが得意でないが、背
伸びしてでも頑張っていかなければと
いう気持ちです。私の任期中に和歌山
県が少しでも元気になって、地域の
方々に喜んでもらえれば、こんなにう
れしいことはない。副議長とともに全
力を尽くしていきたいです。

副議長 私たちの最大の責務は、県民
の生命と財産を守ること。この基本をも
う一度肝に銘じ、議長とともに議会改革
を進めながら「元気なわかやま」の実現
をめざして頑張っていきたいです。



山下 直也 副議長



撮影協力：社会福祉法人 こうま保育園

平成22年度 和歌山県一般会計補正予算などを可決

6月 定例会の概要

知事説明要旨

元氣な和歌山を創造するため、現下の経済情勢に対応した機動的かつ効果的な施策を講じるとともに、県内企業の技術力・販売力の強化のため、積極的な支援を行います。

また、農林水産業の生産・加工・販売面の対策等を一体的かつ効果的に推進するとともに、観光資源のPRや新たな観光客市場である東アジア・欧米などへの積極的なプロモーション活動等を行います。

さらに、県民の暮らしと命を守る福祉・医療の充実に引き続き努力してまいります。



一般質問議員 16人

6月14日(月)	6月15日(火)	6月16日(水)	6月17日(木)
花田 健吉	原 日出夫	大沢広太郎	中 拓哉
藤本眞利子	中村 裕一	多田 純一	谷 洋一
岸本 健	藤井健太郎	片桐 章浩	野見山 海
松坂 英樹	向井嘉久藏	奥村 規子	平越 孝哉

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約抜粋)

平成23年度政府 予算の獲得

問 近畿自動車道紀勢線の整備等、平成23年度の政府予算獲得に全力を挙げてもらいたい。知事の決意は。

答 高速道路をはじめ、河川、港湾等の公共インフラは、県民の将来のチャンスを保障するものとして、また県民の生命の安全、財産の保全という意味で非常に大事である。今後とも、本県発展に不可欠な公共インフラ整備がこれ以上おくれないう、国の施策及び予算に関する県の提案の実現を目指し、全力を挙げていく。

文里湾架橋構想

問 国道42号田鶴交差点の渋滞解消等のため、文里湾に架橋して白浜町から田辺市への進入アクセス道路を確保しては。

答 渋滞解消のため、田鶴交差点の改良を国に働きかけており、抜本的には、近畿自動車道紀勢線の田辺～白浜・すさみまでの供用で渋滞は解決すると考えている。その上で、高速道路供用後の交通状況を勘案し、渋滞や観光振興、救急医療体制の観点から将来的に検討していく。



製造業の振興

問 製造業はすべての産業の富の源泉でもある。ものづくり・製造業振興における県の役割は。

答 産業別担当者制度などで県内企業の業況把握に努め、企業の課題、地域の実情に応じた様々な支援をしている。企業への専門家派遣指導事業、研究開発・販路開拓支援等にも幅広く取り組んでいる。今後、経営革新、販路開拓、技術開発という前向きな支援とともに、セーフティネットや経営相談など中小企業を助ける施策もあわせて行っていく。

イルカ漁批判への対応

問 太地町のイルカ漁を隠し撮りした映画「ザ・ゴーズ」は、事実誤認があるとして上映中止の映画館もあるが、イルカ漁批判に對して今後どう対応するのか。

答 映画は、一方的な価値観や間違った情報に基づいてイルカ漁を批判していると受けとめている。漁業者の生活を守ることが第一であるので、国や町などと連携し、機会あるごとに太地町のイルカ漁に対する攻撃の不当性を国内外に強く主張していく。



県の見解は県ホームページに掲載

子宮頸がん予防のワクチン接種

問 子宮頸がんはワクチン接種により予防できるが、多額の費用がかかる。県内では御坊市が接種を始めたが、県はどういう対策や支援を考えているのか。

答 ワクチン接種による予防は、検診による早期発見、早期治療と合わせ、非常に有効と考え、国に対し予防接種法への位置づけを提案した。国の動向等を注視しながら、引き続き接種者への支援のあり方などを検討していく。

子宮頸がん

子宮の入口付近(子宮頸部)にできるがん。ヒトパピローマウイルス (HPV) というウイルス感染が原因のほとんどで、主に性交渉により感染すると考えられている。初期には全く自覚症状がなく、手遅れになるケースも多い。子宮頸がんワクチン接種によりHPV感染のリスクを減少できるが、すべての感染を予防するものではないため、子宮がん検診の受診や性感染症の予防に注意することも重要である。

介護保険制度の充実

問 介護保険制度がスタートして10年が経過したが、所得の少ない人は安心した老後を送ることができない。保険料の減免を上げ、利用料の減免制度をつくっては。

答 保険料の減免は、保険者である市町村が対象範囲や財源等を検討して実施すべきである。また、利用料の減免制度は、低所得者がサービスを利用した場合、社会福祉法人等による利用者負担軽減制度がある。市町村や社会福祉法人に積極的な実施を要請するとともに、国に対しては制度の充実に要望していく。

医大紀北分院の役割

問 紀北分院整備基本計画では、病床数が減少し、一般外科も廃止となっている。今後高齢化が進む中、外科なしで夜間救急診療体制をはじめ地域医療にどう貢献していけるのか。

答 基本計画に基づき、内科・小児科などの診療科を設置するとともに、チーム医療による総合診療の充実、脊髄・脊髄センタリーや緩和ケアといった新しい取組など、特色ある施設として整備を進めている。新たな診療体制のもと、地域全体としては近隣病院との連携や機能分担により地域医療に貢献できると考えている。



健全な青少年の育成

問 4月に子ども・若者育成支援推進法が施行され、青少年・男女共同参画課に自立支援班を設置したが、子ども・若者を取り巻く現状の認識と今後の施策は。

答 県内には、社会生活を円滑に営む上で困難を有する青少年が約1万人いると推計される。自立支援班では、青少年の悩み等に対応する総合相談窓口を開設し、自立へと支援していく。また、青少年自身が主体的に次世代リーダーを養成するリレー式次世代健全育成事業を核にした地域における育成の体制づくりにも力を注いでおり、今後も青少年の健全育成に全力を挙げていく。

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成22年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(//)	11件	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例等	//
その他案件(//)	4件	訴訟の提起について等	//
人事案件(//)	2件	和歌山県人事委員会の委員の選任につき同意を求めるについて等	同意
専決処分報告(//)	2件	和歌山県税条例の一部を改正する条例等	承認
請願	1件	教育改革についての請願	継続審査
意見書・決議	2件	漁船用軽油に係る軽油引取税の課税免除制度の存続を求める意見書	可決
		エルトゥール号遭難事件120年の節目に当たり日本とトルコ共和国の友好発展を祈念する決議	

会期日程(17日間)

6月	7日(月)	本会議	6月	16日(水)	本会議(一般質問)
	8日(火)	議案調査		17日(木)	常任委員会
	9日(水)			18日(金)	本会議・常任委員会
	10日(木)			22日(火)	本会議
	11日(金)			23日(水)	本会議
	14日(月)	本会議(一般質問)			
	15日(火)				

会期中の主な動き

- 特別委員会の開催(6/7、22)
 - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会
- 議長及び副議長の選出(6/23)
- 委員及び正副委員長長の選出(6/23)
 - 常任委員会、予算特別委員会及び議会運営委員会
- 委員長の辞任及び選出(6/23)
 - 半島振興・交通・産業振興対策特別委員会

和歌の浦の魅力発信

問 5月に、歴史に彩られた和歌の浦が国の名勝として答申された。指定される見込みの8月に向け、今から和歌の浦を売り出すための観光施策を用意すべきではないか。

答 日ごろから美観整備、妹背山徳川期伽藍復興事業に取り組んでいる和歌の浦を愛する地元住民の活動に感謝するとともに、今後、地元の方々や和歌山市、関係団体と連携しながら、多くの観光客に訪れてもらえるよう、万葉、徳川等の切り口から和歌の浦の魅力積極的に発信していく。



暴力団排除条例の制定

問 福岡県では、暴力団組員に利益供与した事業者にも罰則を科す条例を施行している。広域的な暴力団に対して効果的な取締りを行うには全国で同様の条例制定が求められるが、取組状況は。

答 暴力団排除施策を幅広く盛り込んだ条例が制定されることは、暴力団対策推進の上で大変有意義である。福岡、佐賀、長崎、鹿児島、愛媛の各県で既に制定されており、県としても関係機関と協議しながら早期の条例制定に向け作業を進める。

寺内町観光への支援

問 県教委から、文化庁の重要伝統的建造物群保存地区の候補地に御坊も入っていると聞いた。御坊は「再開発すべき古びた町」ではなく「お宝」であると思ふが、御坊の町並みへの評価と寺内町観光への支援は。

答 日高別院を中心に発展した寺内町は、歴史的風情を感じさせる非常に将来性のある観光資源と認識している。地域と協働してのマスコミ等への情報発信や旅行会社への商品造成の働きかけなどに取り組み、紀州鉄道など様々な観光資源とも結びつけながら、寺内町観光の魅力向上、誘客促進など積極的に対応していく。



携帯電話不感地区の解消

問 本県は山間部が多く、いまだに携帯電話がつかない地域がたくさんある。県内の携帯電話エリア整備の現状と今後の整備に向けての見解は。

答 県内の携帯電話の人口カバー率は99.8%であるが、不感地区は91カ所、約1800人がエリア外に居住している。本年度の政府提案で、最大の障害である光ファイバーの維持費への国の支援制度の拡充を強く要望してきた。今後とも、携帯電話事業者に進出を強く働きかけながら、残された不感地区の解消に取り組んでいく。

うめの需給対策

問 中国梅の輸入はピーク時より減少しているものの、市場では安売り競争で中国梅が加工商品の中心になりつつある。今後の需給対策は。

答 先般、生産・消費拡大・販売対策プロジェクトを策定した。生産者や加工業者、市町や県も加わって需給・販売対策会議を設置し、幅広い観点から具体的な需給調整対策を検討していく。今後、できるだけ早期に対策会議を立ち上げ、梅産業全体の安定的な発展に向けて積極的に取り組む。

花木の新品種登録に向けた取組

問 県の平成19年度花木出荷数量は全国11位で、近畿では約4分の3の生産量を誇っている。紀の川市の生産者が育成した観賞樹「シャリンバイ」の新品種「ペリドット」が登録されたが、新品種登録への取組は。

答 これまで新品種育成を試験研究の重要な柱の一つに位置づけ、ミカン、梅、イチゴ、花などの品種育成に取り組んできた。農業者が育成した品種は、花木をはじめ切り花や野菜も、昨年度より品種登録農業者支援制度の適用について検討を進めており、今後、早急に制度の拡大を図っていく。



ペリドット

ひきこもり対策

問 ひきこもり者は増え続けているが、国の対策は未整備で、担当部署もない。家族の心のケア、家族会の結成、ひきこもり者の受け入れ等の拠点づくりが必要では。

答 民間支援団体の運営施設を「ひきこもり者社会参加支援センター」に指定し、居場所の提供、家庭訪問による支援、就労・就学支援等、社会参加促進に取り組んできた。現在指定している3施設を含め、地域の実情に応じた社会的資源を活用した拠点づくりについて、圏域ごとの体制整備を検討していく。



就学援助制度の改善

問 就学援助制度は市町村の制度であるが、県としても、市町村ごとの制度や実態を把握し、保護者にわかりやすい制度となるよう市町村を援助していくべきではないか。

答 就学援助制度の援助対象者の認定、給付額等は、就学援助の必要性を十分踏まえた上でそれぞれの市町村が実情に応じて決定していくものと考えているが、教育の機会均等の確保という制度趣旨にかんがみ、市町村が円滑に活用できるよう助言していく。

紀の川市

定数3人



服部 一

(はっとり はじめ)

会派 自由民主党県議団

趣味 スポーツ

信条・モットー・自己PR等
お互い自分の故郷に誇りを
持ち大切にすれば、新しい
故郷創世が出来る信じ頑
張っています。



山田 正彦

(やまだ まさひこ)

会派 自由民主党県議団

趣味 ゴルフ・カラオケ

信条・モットー・自己PR等
初心生涯をモットーに、地域
力ある紀の川市の発展に、心
のかよう地域(まち)づくり
に、全力投球。



岸本 健

(きしもと たけし)

会派 自由民主党県議団

趣味 サッカー・読書

信条・モットー・自己PR等
『感謝と思いやり』この心を
忘れることなく、何ごとに対
してもまじめに行動する。

議員紹介



あなたのまちの議員を紹介します。



岩出市

定数2人



山本 茂博

(やまもと しげひろ)

会派 自由民主党県議団

趣味 つり・家庭菜園

信条・モットー・自己PR等
夢は叶う。正直な政治、今
日よりも明日。明日がよくな
る為がんばりたい。



川口 文章

(かわぐち ふみあき)

会派 自由民主党県議団

趣味 土いじり

信条・モットー・自己PR等
座右の銘は“一生懸命”を
信条にがんばります。

橋本市

定数2人



向井 嘉久藏

(むかい かくぞう)

会派 自由民主党県議団

趣味 絵画・音楽鑑賞・スポーツ

信条・モットー・自己PR等
福祉に愛を、教育に心を、
桜1万本で街づくり。蛍の棲
むきれいな川を。福祉と教
育に全力投球。



平木 哲朗

(ひらき てつろう)

会派 自由民主党県議団

趣味 テニス・読書

信条・モットー・自己PR等
最大多数の最大幸福。県の
繁栄、県民の幸福の為、誠
実・公平・奉仕の心で取り
組みます。

有田市

定数1人



浅井 修一郎

(あさい おさいちろう)

会派 自由民主党県議団

趣味 旅行・魚釣り

信条・モットー・自己PR等
誠心誠意を信条に地域の要
望や意見をよく聴き、即行
政に反映させるよう常に心
掛けています。

有田郡

定数3人



松坂 英樹

(まつざか ひでき)

会派 日本共産党県議団

趣味 モータースポーツ

信条・モットー・自己PR等
競技歴30年のラードライ
バー。それだけに普段は安
全・エコ運転。大のネコ好
ぎです。



松本 貞次

(まつもと ていじ)

会派 真わかやま

趣味 スポーツ鑑賞

信条・モットー・自己PR等
人権、平和、環境、県民の
生命と財産を守り、農林漁
業の活力を育てるためにガ
ンパります。



吉井 和視

(よしい かずみ)

会派 自由民主党県議団

趣味 読書

信条・モットー・自己PR等
地方の活性化のために本格
的な地方分権の実施が必要
である。

伊都郡

定数2人



門 三佐博

(かど みさひろ)

会派 自由民主党県議団

趣味 各種資料の収集など

信条・モットー・自己PR等
道路網の整備充実が重要課
題です。京奈和道路や府県
間道路等の早期完成に取り
組みます。



平越 孝哉

(ひらこし たかや)

会派 自由民主党県議団

趣味 読書・ゴルフ

信条・モットー・自己PR等
誠心誠意、教育最優先の政
治をモットーに初当選以来
県政の場で懸命に頑張って
います。



野見山 海

(のみやま あつみ)

会派 真わかやま

趣味 山登り・草野球

信条・モットー・自己PR等
一日一善、感謝。スポーツ
施設の充実でスポーツ合宿
の誘致を。地場産業の育成
で雇用拡大を。



原 ひでお

(はら ひでお)

会派 真わかやま

趣味 本を読む・歩く

信条・モットー・自己PR等
「誠実・実行」を柱に1次
産業を強める努力と、それ
を6次産業(加工販売)に
汗します。



町田 亘

(まちだ わたる)

会派 自由民主党県議団

趣味 釣り・スポーツ

信条・モットー・自己PR等
清潔な政治、実行力のある
政治、全ての人にとって『住
みよいまちづくり』



須川 倍行

(すがわ ますゆき)

会派 自由民主党県議団

趣味 ゴルフ・将棋

信条・モットー・自己PR等
何事も親身に皆様の目線に
立ってすぐに行動いたしま
す。信条は愛郷無限であり
ます。



谷 洋一

(たに よういち)

会派 自由民主党県議団

趣味 金魚飼育・スポーツ

信条・モットー・自己PR等
住民の目線で物を見る。真
面目に一生懸命取り組む。
責任をもって問題解決をす
る。



前芝 雅嗣

(まえしば まさつぐ)

会派 自由民主党県議団

趣味 スポーツ鑑賞・囲碁

信条・モットー・自己PR等
県民目線を一番にこれから
の政治に取り組んでいきま
す。

和歌山市

定数16人(欠員1)



藤本 眞利子

(ふじもと まりこ)

会派 真わかやま
趣味 体を動かす・映画鑑賞
信条・モットー・自己PR等
どんなことでも前向きに、できることから始めます。始めたことは継続、継続は力です。



宇治田 栄蔵

(うじた えいぞう)

会派 自由民主党県議団
趣味 空手道
信条・モットー・自己PR等
清潔な政治、誠実な政治家を目指し日々努力しております。



奥村 規子

(おくむら のりこ)

会派 日本共産党県議団
趣味 演劇鑑賞・ウォーキング
信条・モットー・自己PR等
世界に誇れる平和憲法をくらしの中に息づかせること。若者が希望をもてる社会にすること。



山下 大輔

(やました だいすけ)

会派 真わかやま
趣味 読書・スポーツ・政策づくり
信条・モットー・自己PR等
世界・アジアに誇れる和歌山の実現する為、しがらみ、なれあい政治を打破し、新たな政治のリーダーシップを創造する。



中 拓哉

(なか たくや)

会派 公明党県議団
趣味 対話・思索・読書・芸術鑑賞
信条・モットー・自己PR等
寿命という限られた時間の中で世の不幸をなくすべく自由な自己として止暇断眠で頑張る。



長坂 隆司

(ながさか たかし)

会派 真わかやま
趣味 スポーツ・食事・釣り
信条・モットー・自己PR等
「なせばなる」を座右の銘に、体力にまかせて、「猪突猛進」、現場主義に徹して走ります。



角田 秀樹

(つのだ ひでき)

会派 公明党県議団
趣味 旅行
信条・モットー・自己PR等
誠実・情熱・確かな行動!



多田 純一

(ただ じゅんいち)

会派 公明党県議団
趣味 ウォーキング
信条・モットー・自己PR等
全国に誇れる和歌山を!



新島 雄

(にいじま たけし)

会派 自由民主党県議団
趣味 スポーツ全般?!かなあ
信条・モットー・自己PR等
教育・観光・共生!!わかやま。県民の皆様、力を合わせて、一緒に頑張ります。



山下 直也

(やました なおや)

会派 自由民主党県議団
趣味 アーチERY
信条・モットー・自己PR等
現場第一主義のもと、「いつでもどこでも一生懸命」を信条と致し、今日までやってきました。



井出 益弘

(いで ますひろ)

会派 自由民主党県議団
趣味 旅行・陶芸・茶道
信条・モットー・自己PR等
人に優しく治に厳しく。国体迄に主要道路開通や中国との観光、文化、経済交流に東奔西走。



小川 武

(おがわ たけし)

会派 自由民主党県議団
趣味 読書・旅行・囲碁
信条・モットー・自己PR等
歴史、伝統、景観、食の特色を活かした観光による夢あふれる故郷づくりに全力投球。

海南市・海草郡

定数3人



黒江の町並み



尾崎 太郎

(おざき たらう)

会派 自由民主党県議団
趣味 読書
信条・モットー・自己PR等
自虐史観を払拭し戦前と戦後の断絶を修復して、日本の歴史を取り戻します。



藤井 健太郎

(ふじい けんたらう)

会派 日本共産党県議団
趣味 登山・釣り
信条・モットー・自己PR等
住民が主人公で、だれもが健康で文化的な生活を送ることができる自治体をめざすこと。



片桐 章浩

(かたぎり あきひろ)

会派 真わかやま
趣味 ホームページの継続
信条・モットー・自己PR等
今日できることは、新しく書き込める1ページのための行動をすることだと思っています。



藤山 将材

(ふじやま まさき)

会派 自由民主党県議団
趣味 野球・読書・ギター
信条・モットー・自己PR等
「人と人とのふれあいがあり、福祉や教育も充実」そんな夢の実現に向け精一杯頑張ります。



尾崎 要二

(おざき ようじ)

会派 自由民主党県議団
趣味 釣り・読書・水泳
信条・モットー・自己PR等
ふるさとに多くの課題があり、いつも全力投球で頑張っています。



雑賀 光夫

(ざいか みつお)

会派 日本共産党県議団
趣味 囲碁・読書
信条・モットー・自己PR等
アメニモマケズ・・・いつも住民とともに。

御坊市

定数1人



日高川



中村 裕一

(なかむら ゆういち)

会派 自由民主党県議団
趣味 水泳
信条・モットー・自己PR等
県民のお声を素直に拝聴し、議員提案条例に励み、誠心誠意風勢浮揚のため努力します。

日高郡

定数3人



坂本 登

(さかもと のぼる)

会派 自由民主党県議団
趣味 花づくり
信条・モットー・自己PR等
梅、花、野菜、水産。郷土は「一次産品大国」です。より強く豊かな日高を目指します。

富安 民浩

(とみやす たみひろ)

会派 自由民主党県議団
趣味 散歩
信条・モットー・自己PR等
地方の確かな歩みが国家の安定に繋がるという信念に基づき、地方蘇生に向けての諸取組。



花田 健吉

(はなだ けんきち)

会派 自由民主党県議団
趣味 ゴルフ・ネコの世話
信条・モットー・自己PR等
至誠
人の立場に立って考える。

田辺市

定数4人



天神崎



大沢 広太郎

(おおさわ ひろたらう)

会派 自由民主党県議団
趣味 スポーツ観戦
信条・モットー・自己PR等
一期一会を大切に、又公僕に携わる者として健康に注意し、誠意と努力で日々精進します。



泉 正徳

(いずみ まさのり)

会派 自由民主党県議団
趣味 山歩き
信条・モットー・自己PR等
心豊かに郷土和歌山を誇れるような教育と社会環境づくりに努めています。

県議会のしくみ

議会運営委員会

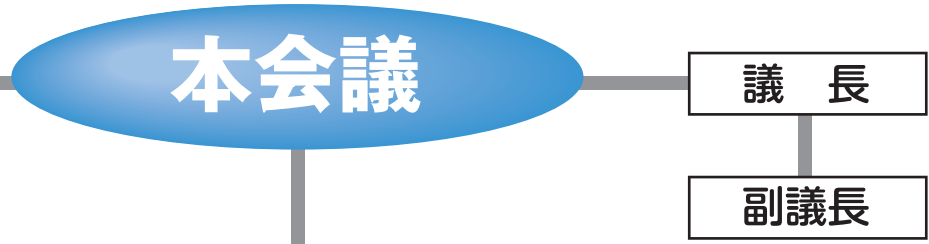
定数13人

議会の運営に関する事項や議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項等について調査審議する。



◎須川 倍行	中村 裕一
○花田 健吉	小川 武
町田 亘	長坂 隆司
大沢広太郎	山下 大輔
尾崎 太郎	藤井健太郎
藤山 将材	角田 秀樹
宇治田栄蔵	

- ◎委員長
- 副委員長



特別委員会

人権・少子高齢化問題等対策特別委員会

定数11人(欠員1)

人権及び少子高齢化に関する施策について調査審議する。

◎花田 健吉	井出 益弘
○小川 武	藤本眞利子
平木 哲朗	松本 貞次
須川 倍行	奥村 規子
岸本 健	
山下 直也	

防災・環境問題等対策特別委員会

定数11人

地震等さまざまな災害及び環境問題に関する施策について調査審議する。

◎長坂 隆司	藤山 将材
○山本 茂博	新島 雄
前芝 雅嗣	原 日出夫
向井嘉久藏	雑賀 光夫
平越 孝哉	多田 純一
尾崎 太郎	

行政改革・基本計画等に関する特別委員会

定数12人

行政改革、県行政に係る基本計画等及び関西広域連合(仮称)について調査審議する。

◎中村 裕一	坂本 登
○服部 一	富安 民浩
泉 正徳	片桐 章浩
吉井 和視	山下 大輔
川口 文章	藤井健太郎
山田 正彦	中 拓哉

半島振興・交通・産業振興対策特別委員会

定数12人(欠員2)

半島地域の振興対策及び交通・産業の振興に関する施策について調査審議する。

◎浅井修一郎	宇治田栄蔵
○松坂 英樹	尾崎 要二
門 三佐博	野見山 海
町田 亘	角田 秀樹
大沢広太郎	
谷 洋一	

予算特別委員会

定数19人

県の予算を総合的に調査審議する。

◎尾崎 要二	向井嘉久藏	坂本 登	多田 純一
○小川 武	花田 健吉	富安 民浩	
泉 正徳	岸本 健	片桐 章浩	
山本 茂博	川口 文章	長坂 隆司	
前芝 雅嗣	藤山 将材	野見山 海	
浅井修一郎	山田 正彦	雑賀 光夫	

常任委員会

総務委員会

定数8人(欠員1)

総務部・企画部・会計管理者・選挙管理委員会・人事委員会・監査委員 他

◎川口 文章	藤井健太郎
○平木 哲朗	
谷 洋一	
山下 直也	
坂本 登	
山下 大輔	



福祉環境委員会

定数7人

環境生活部・福祉保健部

◎片桐 章浩	奥村 規子
○角田 秀樹	
浅井修一郎	
向井嘉久藏	
尾崎 太郎	
山田 正彦	



経済警察委員会

定数8人(欠員1)

商工観光労働部・公安委員会・労働委員会

◎前芝 雅嗣	長坂 隆司
○岸本 健	
町田 亘	
宇治田栄蔵	
尾崎 要二	
中村 裕一	



農林水産委員会

定数7人

農林水産部・海区漁業調整委員会・内水面漁場管理委員会

◎藤山 将材	松本 貞次
○原 日出夫	
山本 茂博	
服部 一	
井出 益弘	
富安 民浩	



建設委員会

定数8人

県土整備部・収用委員会

◎泉 正徳	野見山 海
○松坂 英樹	中 拓哉
門 三佐博	
須川 倍行	
大沢広太郎	
小川 武	



文教委員会

定数8人(欠員1)

教育委員会

◎花田 健吉	多田 純一
○新島 雄	
吉井 和視	
平越 孝哉	
藤本眞利子	
雑賀 光夫	



定例会と臨時会

県議会には、年に4回(2月、6月、9月、12月)定期的に開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があり、それぞれ知事が招集します。

本会議

議場に全議員が出席して開かれる会議を「本会議」といい、議会の権限について最終的な意思決定を行います。

委員会

「常任委員会」は、本会議から付託された議案・請願などを、議決に先立って議員で分担して専門的に審議する機関です。

「特別委員会」は、重要な特定の事項について、専門的に審議する機関です。

「議会運営委員会」は、議会がスムーズに運営されるために設置されています。

議長と副議長

議長、副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。

議長は、会議の運営、議会の秩序保持などに当たり、対外的に議会を代表します。

副議長は、議長がいないときなど、議長にかわって職務を行います。

議会庁舎案内図(県庁北別館)

4F



傍聴席入口

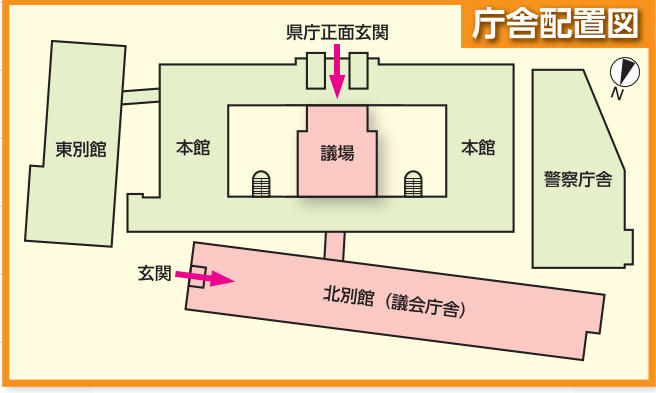
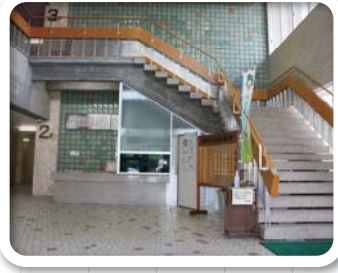
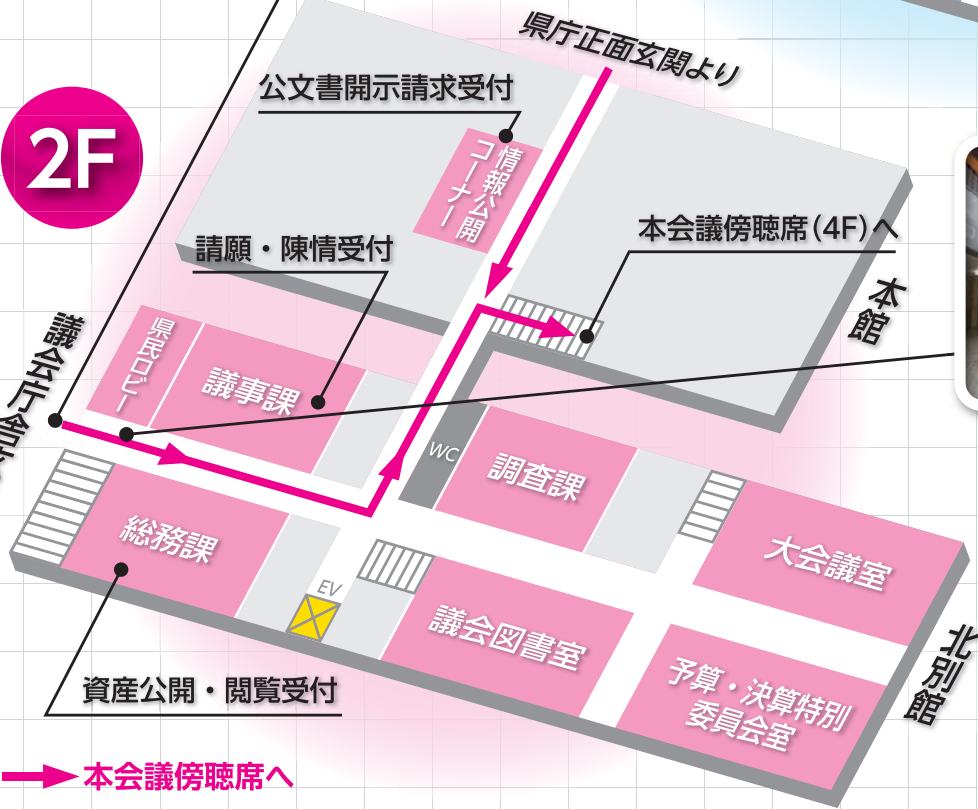
車いす入口



3F



2F



→ 本会議傍聴席へ

見聞

県議会を

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(9月定例会放送予定 9/8、15~17、21、28)

県議会手話だより 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト 開会、質問、閉会日の22時から15~30分間放送(9月定例会放送予定 9/8、15~17、21、28)

県議会ホームページ

和歌山県議会

和歌山県議会

検索

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成22年9月定例会 会期日程(予定)

本会議 9月 8日(水)

本会議(質問) 9月15日(水)~17日(金)・21日(火)

常任委員会 9月22日(水)・24日(金)

本会議 9月27日(月)~28日(火)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

「点字版・テープ版」のご案内

本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方々による朗読)を作成しています。詳しくは県議会事務局議事課まで

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。具体的には次のような項目です。県民の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おみやみやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)

編集後記

今回、こうま保育園の子どもさんたちが県議会議場を訪ねてくれました。最初は慣れない場所、慣れない人達(?)に緊張気味の様子でしたが、議長・副議長とお話をするうちに、すっかりなごやかな雰囲気になっていました。

県議会議場も耐震工事によるリニューアルが行われ、より明るい議場となりました。新たな雰囲気議場、皆様もぜひお越しください。

発行日/平成22年8月8日
編集・発行/和歌山県議会
☎073-441-3570
〒640-8585(県庁専用郵便番号)
和歌山市小松原通1-1

2015
紀の国わかやま国体
躍動と歓喜、そして絆

議会活動

ぎかいかつどうトピックス

TOPICS



低温による農作物被害を調査
〔農林水産委員会〕
3月27日に県内各地で発生した低温被害を把握するため、4月22日、田辺市・みなべ町の梅園、かつらぎ町・紀の川市の柿園を調査しました。
調査の結果、梅では冷気が停滞しやすい園地を中心に効果の被害が見られ、特に小梅で被害が甚大でした。柿は新芽が枯死し、来年以降への影響も懸念されるとのことでした。
本調査をもとに、県当局に対して迅速に被災農家への支援策を講じること、及び継続的な状況の注視を求めました。その結果、県当局は4月27日付で被害額を確定し、被災農家が安定して農業経営を維持できるように緊急低利融資制度を措置しました。



暴力団追放県民センターを調査
〔経済警察委員会〕
6月18日、暴力団絡みの事件が世間を騒がせている中、この新しい事務所に移転した暴力団追放県民センター(和歌山市南雑賀町64番地)の現地調査を行いました。
指定暴力団の事務所であったビルを買取って暴力団追放の拠点とするという全国初の取組について、移転までの経過や現在の活動状況、今後の課題などについて説明を受けるとともに、施設の概要を調査しました。
委員からは、全国に誇れる快挙なので、より一層のPRに力を入れるとともに、入りやすい雰囲気づくり、道路への案内板の掲示などについて意見が出されました。

委員間で協議 (6月7日)
6月定例会への関連議案の日程を見送ること、各府県議会での審議状況及び県内市町村等への情報提供の状況について県当局から説明を受けた後、広域連合への参加の必要性等について委員相互で議論を行いました。

知事との意見交換(6月22日)
仁坂知事から、関西広域連合への本県参加の方針、参加の意義、道州制とは違う制度であることの説明を受け、主に次のような質疑を行いました。
A 本県にとって関西の発展は必



関西広域連合(仮称)を本格的に協議
〔行政改革・基本計画等に関する特別委員会〕
要不可欠であり、行政の効率化にもつながることから、参加すべきである。
B 奈良県、三重県の不参加について
A 関西は一つであり、力を合わせて関西が発展すれば、各府県も発展するはずである。
まずは、広域連合を設立してメリットがあるところを見せ、参加を促したい。

議員の資産公開について

県議会議員の政治倫理の確立を目的に制定された資産公開条例に基づき所得等報告書などを公開しています。報告書の保存期限は5年間で、だれでも閲覧することができます。

- 閲覧場所 県議会事務局総務課(県庁北別館2F)
- 閲覧日時 月~金曜日の9時~17時45分まで(祝日・年末年始は除く)

お問い合わせは県議会事務局各課まで

総務課	議会庶務、情報公開など	☎073-441-3560 FAX073-441-3559
議事課	傍聴、請願、陳情の受付など	☎073-441-3570 FAX073-441-3575
調査課	調査業務、議員提案条例など	☎073-441-3580 FAX073-441-3581